

アメリカのSC制度等についての調査

1 アメリカのSCの養成課程について

※各大学及び大学院、また、SCの採用の条件も州によって異なるため、以下の記述は、公立学校における一般論として記載していることに留意。

(1) 大学、大学院でそれぞれ何を学ぶか。

- ・教育要件としては、「修士号（又はより高度な学位）の各州教育委員会認定のスクール・カウンセリングプログラムの修了」としている州が多く見られる。
- ・また、大学院のスクール・カウンセリングのコースに進学するための条件として、行動学、社会科学、教育学などの関連分野で、学士号を取得していることを要件としているケースが多い。

(参考HP) <https://www.schoolcounselor.org/About-School-Counseling/State-Requirements-Programs/State-Licensure-Requirements>

(2) 必須とされる単位科目はあるか。

・ASCA（米国スクールカウンセラー協会）のホームページによれば、ほとんどの公立学校のシステムでは、次の科目を含む学位が必要とされている。

- ・人間の成長と発達 (Human growth and development)
- ・理論 (Theories)
- ・個別カウンセリング (Individual counseling)
- ・グループカウンセリング (Group counseling)
- ・社会、文化基盤 (Social and cultural foundations)
- ・テスト/評価 (Testing/appraisal)
- ・研究、プログラム評価 (Research and program evaluation)
- ・プロフェッショナルオリエンテーション (Professional orientation)
- ・キャリア開発 (Career development)
- ・監督下での実習 (Supervised practicum)
- ・監督下でのインターンシップ (Supervised internship)

(参考HP) <https://www.schoolcounselor.org/About-School-Counseling/State-Requirements-Programs/State-Licensure-Requirements>

(3) 大学でSC資格のために必要な単位科目を取得していない場合、大学院からSC資格のために必要な単位科目を取得できるか。

- ・大学から大学院への進学における個別要件の問題となるため詳細は不明。
- ※SCの採用の教育要件としては、(1)のとおり、大学院の単位科目のみが必須要件とな

る。

(参考HP) <https://www.schoolcounselor.org/About-School-Counseling/State-Requirements-Programs/State-Licensure-Requirements>

(4) 一般的にSC資格の取得のために必要な期間は何年程度か。

・一般的には、関連分野（行動学、社会科学、教育学など）の学士号を取得した後（4年）、スクール・カウンセリングの修士号取得のほか、インターンシップや監督下での実習、ライセンス取得のための認定試験の合格のために、さらに3～5年かかるとされている。

(参考HP) https://onlinecounselingprograms.com/become-a-counselor/how-long-does-it-take/?_ga=2.33517562.516228140.1636754048-1908138603.1636754048

【参考】

○ ニューヨーク工科大学スクール・カウンセリング修士コース [https://www.nyit.edu/degrees/school_counseling]

(主な入学要件)

- ・学士号又はそれと同等の学位
- ・心理学、教育、社会学、法律、関連行動科学
- ※学校、社会機関、病院、刑事司法、コミュニティアクションプログラムでの職業経験は不要
- ・GPA (Grade Point Average) が、3.0以上
- ※2.85～2.99までの申請者は条件付きで受入可能

(修士号取得までの平均期間)

2.5年

(その他)

- ・キャリアオプションとして、指導教員、キャリアカウンセラー、カレッジアドバイザー、バイリンガルエクステンション等の学位の取得が可能

2 アメリカの学校における児童生徒等への支援に係る職員体制について

(1) SC以外の職種は何があるか。(SSW、スクールサイコロジスト、ガイダンスカウンセラー、スクールロイヤーなど)

- ・スクールソーシャルワーカー (Kindergarten-Grade8・Grade9-12)
- ・スクールサイコロジスト (Kindergarten-Grade8・Grade9-12)
- ・ガイダンスカウンセラー (Kindergarten-Grade8・Grade9-12)
- ・カレッジオフィスカウンセラー (Grade9-12)
- ・ペアレンツコーディネーター・ファミリーコーディネーター (ワーカー) (Kindergarten-Grade8)
- ・RAPP (関係虐待防止プログラム) コーディネーター (Grade9-12)
- ・SAPIS (薬物乱用防止/介入スペシャリスト) (Grade9-12)

※Kindergarten が幼稚園、Grade1-8 が小学校・中学校、Grade9-12 が高等学校と同等の教育機関

(補足) 上記職種のうち学校のホームページ等で確認できた一般的な各職種の役割

- ・スクールソーシャルワーカー：スクールカウンセラー（又はガイダンスカウンセラー）と同じセクションで紹介されることが多い。また、障害を持つ子どもに対する特別教育プログラムに関与していることがある。
- ・スクールサイコロジスト：障害を持つ子どもに対する特別教育プログラムに関与していることがある。
- ・ガイダンスカウンセラー：スクールカウンセラーとほぼ同等の役割として位置付けられている。
- ・ペアレンツコーディネーター：保護者へのカウンターパートの役割を果たしており、管理者直轄のセクション（秘書等がいるメインオフィス）の一番目のスタッフとして紹介されることが多い。
- ・RAPP コーディネーター：生徒同士の交際や学校での人間関係等による虐待防止プログラムを取り扱うスタッフであるため、原則として高等学校に設置されているが、早期介入プログラムとして中学校に導入することも可能。

2 (2) ~ 3 (5) については、各地方自治体の学校区によって、職員体制や業務内容等が異なるため、ニューヨーク市内の以下の6校について調査を行った。なお、いじめや不登校等への具体的な対応については、情報を得ることができなかった。

(Grade9-12)

- ・ Stuyvesant high school (345 Chambers St, New York, NY)
- ・ A Philip Randolph Campus High School (433 W 135th St New York, NY)
- ・ Beacon High School (522 W 44th St New York, NY)

(Kindergarten - Grade8)

- ・ 30th Avenue School (28-37 29th St Astoria, NY)
- ・ P.S. 122 Mamie Fay (21-21 Ditmars Blvd Astoria, NY)
- ・ P.S. 39 Henry Bristow (417 6th Ave Brooklyn, NY)

Stuyvesant high school (345 Chambers St, New York, New York)

基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ・全生徒数 : 3,319 人 ・学 年 : Grade9-12
2- (1) 人員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー…12名 ※2021年度は12名の出勤スケジュールがホームページに掲載 ※勤務時間は基本的に7時間ベース ・カレッジカウンセラー…3名 (責任者 (Director) あり) ・スクールソーシャルワーカー…1名 ※2021年は2名の出勤スケジュール (未定) がホームページに掲載 ※勤務時間は不明 ・スクールサイコロジスト…1名 ※勤務時間は不明
2- (2) 各職種における質問項目①～⑤	
① 指揮命令系統	各職種における上位の管理職となるようなスタッフは確認できなかった。(校長と副校長のみ)。なお、スクールカウンセラーについては、1つの部局 (Department) として設置されている。
② 職位	職制上の段階は確認できなかったが、責任者 (Director) がいる職種 (カレッジカウンセラー) が確認できた。
③ 任用形態	スクールカウンセラーは7時間勤務であることの確認がとれたが、常勤か非常勤かは明記されていない。それ以外の職種については、確認できなかった。
④ 勤務体系	
⑤ 給与体系	確認できなかった。
2- (3) 教員との違い	2- (2) の①、②、③及び⑤の項目については確認できなかった。④の勤務体系については、スクールカウンセラーとほぼ同等の勤務時間となる。
3- (1) 職種の職務内容、職務分担	<p>スクールカウンセラーの目的、役割及び職務内容について確認できた。</p> <p>(目的)</p> <p>生徒一人一人の学業面、社会面、精神面での成長を促すこと</p> <p>(役割)</p> <p>生徒へのカウンセリング、保護者との面談、スタッフとの相談、学校のガイダンスワークショップを教育プログラムに統合することで、生徒の成功を最大限に引き出すこと</p> <p>(職務内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動などの校内のリソースと連携した生徒のサポート ・外部カウンセリングの紹介、コミュニティサービスやボランティアの機会の提供 ・Secondary School Report の作成

	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の出席状況や学業成績の追跡調査 ・学年ごとのワークショップの開催 <p>(参考 HP)</p> <p><u>Home - Counseling Department - Educational Support Departments - Stuyvesant High School (enschool.org)</u></p>
3- (2) SCの家庭内問題への対応の有無	確認できなかった。なお、州や学校区によっては、SCが家庭内の問題に関与する場合もあるが、アメリカにおけるSCの役割は、主に学校内での生徒の学業面や精神面等での向上を図ることに重きを置いているケースが多い。
3- (3) 以下の問題に対して、対応する職種及び連携する職種	
① 学校におけるいじめ、不登校等の問題に係る児童生徒への対応	確認できなかった。
② 学校におけるいじめ、不登校等の問題に係る当該児童生徒の保護者への対応	確認できなかった。
③ 家庭における虐待、貧困等の問題に係る児童生徒への対応	ニューヨーク市の Chancellor' s Regulation A-750 の規定により、虐待の可能性がある場合は、全ての学校関係者は State Central Register (SCR)
④ 家庭における虐待、貧困等の問題に係る当該児童生徒の保護者への対応	へ報告することが義務付けられている。また、当該報告後、所定の報告書を自治区の児童サービス局 (ACS) に提出する必要がある。
⑤ 保護者が学校にクレームを言いに来た場合の対応	保護者からの学校に関する問い合わせは、ペアレンツコーディネーターが窓口となっている。連携する職種は確認できなかった。
⑥ 自死案件の事後対応	確認できなかった。
3- (4) SC等による相談等対応に係る記録は教員と共有するのか。	確認できなかった。
3- (5) 相談者である児童生徒が転校した場合、相談等対応に係る記録は転校先の学校へ引き継がれるか。引き継がれる場合、本人同意は必要か。	確認できなかった。

(以上)

A Philip Randolph Campus High School (433 W 135th St New York, NY)

基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ・全生徒数 : 1,379 人 ・学 年 : Grade9-12
2- (1) 人員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスカウンセラー…7名 ・スクールソーシャルワーカー…1名 ・スクールサイコロジスト…1名 ・SAPIS (薬物乱用防止/介入スペシャリスト)…1名 ・ペアレンツコーディネーター…1名 <p>※いずれも勤務時間は不明</p>
2- (2) 各職種における質問項目①～⑤	
① 指揮命令系統	各職種における上位の管理職となるようなスタッフは確認できなかった (校長と副校長のみ)。なお、上記スタッフは全て「ガイダンスカウンセラーオフィス」スタッフとして紹介されていた。また、当該チーム内において責任者 (Director) 等の役職は確認できなかった。
② 職位	職制上の段階は確認できなかった。
③ 任用形態	確認できなかった。
④ 勤務体系	
⑤ 給与体系	確認できなかった。
2- (3) 教員との違い	確認できなかった。
3- (1) 職種の職務内容、職務分担	ペアレンツコーディネーターが保護者のカウンターパートになっていることが確認できた。
3- (2) SCの家庭内問題への対応の有無	確認できなかった。なお、州や学校区によっては、SCが家庭内の問題に関与する場合もあるが、アメリカにおけるSCの役割は、主に学校内での生徒の学業面や精神面等での向上を図ることに重きを置いているケースが多い。
3- (3) 以下の問題に対して、対応する職種及び連携する職種	
① 学校におけるいじめ、不登校等の問題に係る児童生徒への対応	確認できなかった。
② 学校におけるいじめ、不登校等の問題に係る当該児童生徒の保護者への対応	確認できなかった。
③ 家庭における虐待、貧困等の問題に係る児童生徒への対応	ニューヨーク市の Chancellor's Regulation A-750 の規定により、虐待の可能性がある場合は、全ての学校関係者は State Central Register (SCR)
④ 家庭における虐待、貧困等の問題に係る当該児童生徒の保護者への対応	へ報告することが義務付けられている。また、当該報告後、所定の報告書を自治区の児童サービス局 (ACS) に提出する必要がある。

⑤ 保護者が学校にクレームを言いに来た場合の対応	保護者からの学校に関する問い合わせは、ペアレンツコーディネーターがカウンターパートになっていることが確認できた。連携する職種は確認できなかった。
⑥ 自死案件の事後対応	確認できなかった。
3- (4) SC等による相談等対応に係る記録は教員と共有するのか。	確認できなかった。
3- (5) 相談者である児童生徒が転校した場合、相談等対応に係る記録は転校先の学校へ引き継がれるか。引き継がれる場合、本人同意は必要か。	確認できなかった。

(以上)

Beacon High School (522 W 44th St New York, NY)

基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ・全生徒数 : 891 人 ・学 年 : Grade9-12
2- (1) 人員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー…4名 ・スクールソーシャルワーカー…1名 ・RAPP コーディネーター…1名 ・スクールサイコロジスト…1名 ・ペアレントコーディネーター…1名 <p>※勤務時間は不明</p>
2- (2) 各職種における質問項目①～⑤	
① 指揮命令系統	<p>スクールカウンセラー等の上位の管理職となるようなスタッフは確認できなかった（校長と副校長のみ）が、3名いる副校長の1名が上記サポートスタッフを担当していることが確認できた。なお、ペアレンツコーディネーターとスクールサイコロジストを除く上記のスタッフについては、「ガイダンスカウンセラーオフィス」スタッフとして紹介されている。</p>
② 職位	職制上の段階は確認できなかった。
③ 任用形態	確認できなかった。
④ 勤務体系	
⑤ 給与体系	確認できなかった。
2- (3) 教員との違い	確認できなかった。
3- (1) 職種の職務内容、職務分担	<p>ペアレンツコーディネーターが保護者のカウンターパートになっていることが確認できた。</p> <p>スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、RAPP コーディネーターで構成される「ガイダンスカウンセラーオフィス」の役割として、生徒の学業面、社会面、精神面の包括的なガイダンスプログラムを提供することが挙げられていた。</p>
3- (2) SCの家庭内問題への対応の有無	<p>確認できなかった。なお、州や学校区によっては、SCが家庭内の問題に関与する場合もあるが、アメリカにおけるSCの役割は、主に学校内での生徒の学業面や精神面等での向上を図ることに重きを置いているケースが多い。</p>
3- (3) 以下の問題に対して、対応する職種及び連携する職種	
① 学校におけるいじめ、不登校等の問題に係る児童生徒への対応	確認できなかった。
② 学校におけるいじめ、不登校等の問題に係る当該児童生徒の保護者への対応	確認できなかった。

③ 家庭における虐待、貧困等の問題に係る児童生徒への対応	ニューヨーク市の Chancellor's Regulation A-750 の規定により、虐待の可能性がある場合は、全ての学校関係者は State Central Register (SCR)
④ 家庭における虐待、貧困等の問題に係る当該児童生徒の保護者への対応	へ報告することが義務付けられている。また、当該報告後、所定の報告書を自治区の児童サービス局 (ACS) に提出する必要がある。
⑤ 保護者が学校にクレームを言いに来た場合の対応	保護者からの学校に関する問い合わせは、ペアレンツコーディネーターが窓口となっている。連携する職種は確認できなかった。
⑥ 自死案件の事後対応	確認できなかった。
3-(4) SC等による相談等対応に係る記録は教員と共有するのか。	確認できなかった。
3-(5) 相談者である児童生徒が転校した場合、相談等対応に係る記録は転校先の学校へ引き継がれるか。引き継がれる場合、本人同意は必要か。	確認できなかった。

(以上)

30th Avenue School (28-37 29th St Astoria, NY)

基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ・全生徒数：444人 ・学 年：Kindergarten-Grade8
2- (1) 人員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスカウンセラー…2名 ・スクールソーシャルワーカー…3名 ・スクールサイコロジスト…2名 ・ペアレントコーディネーター…1名 ・ファミリーワーカー…2名 <p>※いずれも勤務時間は不明</p>
2- (2) 各職種における質問項目	
① 指揮命令系統	各職種における上位の管理職となるようなスタッフは確認できなかった（校長と副校長のみ）。なお、上記のスタッフは、全て「UPPORT TEAM」スタッフとして紹介されている。また、当該チーム内において責任者（Director）等の役職は確認できなかった。
② 職位	職制上の段階は確認できなかった。
③ 任用形態	確認できなかった。
④ 勤務体系	
⑤ 給与体系	確認できなかった。
2- (3) 教員との違い	確認できなかった。
3- (1) 職種の職務内容、職務分担	ペアレンツコーディネーターが保護者のカウンターパートになっていることが確認できた。
3- (2) SCの家庭内問題への対応の有無	確認できなかった。なお、州や学校区によっては、SCが家庭内の問題に関与する場合もあるが、アメリカにおけるSCの役割は、主に学校内での生徒の学業面や精神面等での向上を図ることに重きを置いているケースが多い。
3- (3) 以下の問題に対して、対応する職種及び連携する職種	
① 学校におけるいじめ、不登校等の問題に係る児童生徒への対応	確認できなかった。
② 学校におけるいじめ、不登校等の問題に係る当該児童生徒の保護者への対応	確認できなかった。
③ 家庭における虐待、貧困等の問題に係る児童生徒への対応	ニューヨーク市のChancellor's Regulation A-750の規定により、虐待の可能性がある場合は、全ての学校関係者はState Central Register (SCR)
④ 家庭における虐待、貧困等の問題に係る当該児童生徒の保護者への対応	へ報告することが義務付けられている。また、当該報告後、所定の報告書を自治区の児童サービス局（ACS）に提出する必要がある。

⑤ 保護者が学校にクレームを言いに来た場合の対応	保護者からの学校に関する問い合わせは、ペアレンツコーディネーターが窓口となっている。連携する職種は確認できなかった。
⑥ 自死案件の事後対応	確認できなかった。
3- (4) SC等による相談等対応に係る記録は教員と共有するのか。	確認できなかった。
3- (5) 相談者である児童生徒が転校した場合、相談等対応に係る記録は転校先の学校へ引き継がれるか。引き継がれる場合、本人同意は必要か。	確認できなかった。
(以上)	

P.S. 122 Mamie Fay (21-21 Ditmars Blvd Astoria, NY)

基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ・全生徒数：1,360人 ・学 年：Pre-Kindergarten-Grade8
2- (1) 人員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスカウンセラー…2名 ・スクールソーシャルワーカー…1名 ・スクールサイコロジスト…1名 ・ペアレントコーディネーター…1名 ・ファミリーワーカー…1名 <p>※いずれも勤務時間は不明</p>
2- (2) 各職種における質問項目	
① 指揮命令系統	各職種における上位の管理職となるようなスタッフは確認できなかった（校長と副校長のみ）。なお、上記のスタッフは、全て「SUPPORT TEAM」スタッフとして紹介されている。また、当該チーム内において責任者（Director）等の役職は確認できなかった。
② 職位	職制上の段階は確認できなかった。
③ 任用形態	確認できなかった。
④ 勤務体系	
⑤ 給与体系	確認できなかった。
2- (3) 教員との違い	確認できなかった。
3- (1) 職種の職務内容、職務分担	<p>スクールサイコロジスト及びソーシャルワーカーが個別教育プログラム（The Individualized Education Program）（障害を持つ子どもに対する特別教育支援）を担当していることが確認できた。</p> <p>ペアレンツコーディネーターが保護者のカウンターパートになっていることが確認できた。</p>
3- (2) SCの家庭内問題への対応の有無	確認できなかった。なお、州や学校区によっては、SCが家庭内の問題に関与する場合もあるが、アメリカにおけるSCの役割は、主に学校内での生徒の学業面や精神面等での向上を図ることに重きを置いているケースが多い。
3- (3)	以下の問題に対して、対応する職種及び連携する職種
① 学校におけるいじめ、不登校等の問題に係る児童生徒への対応	確認できなかった。
② 学校におけるいじめ、不登校等の問題に係る当該児童生徒の保護者への対応	確認できなかった。
③ 家庭における虐待、貧困等の問題に	ニューヨーク市の Chancellor's Regulation A-750 の規定により、虐待の

係る児童生徒への対応	可能性がある場合は、全ての学校関係者はState Central Register (SCR)へ報告することが義務付けられている。また、当該報告後、所定の報告書を自治区の児童サービス局 (ACS) に提出する必要がある。
④ 家庭における虐待、貧困等の問題に係る当該児童生徒の保護者への対応	
⑤ 保護者が学校にクレームを言いに来た場合の対応	保護者からの学校に関する問い合わせは、ペアレンツコーディネーターが窓口となっている。連携する職種は確認できなかった。
⑥ 自死案件の事後対応	確認できなかった。
3- (4) SC等による相談等対応に係る記録は教員と共有するのか。	確認できなかった。
3- (5) 相談者である児童生徒が転校した場合、相談等対応に係る記録は転校先の学校へ引き継がれるか。引き継がれる場合、本人同意は必要か。	確認できなかった。

(以上)

P.S. 39 Henry Bristow (417 6th Ave Brooklyn, NY)

基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ・全生徒数：411人 ・学 年：Kindergarten-Grade5
2- (1) 人員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスカウンセラー…2名 ・スクールソーシャルワーカー…1名 ・スクールサイコロジスト…1名 ・ペアレントコーディネーター…1名 ・ファミリーワーカー…1名 <p>※いずれも勤務時間は不明</p>
2- (2)	各職種における質問項目
① 指揮命令系統	各職種における上位の管理職となるようなスタッフは確認できなかった（校長と副校長のみ）。なお、ペアレンツコーディネーターはメインオフィスのスタッフとして、それ以外のスタッフは、「SCHOOL-BASED SUPPORT TEAM」スタッフとして紹介されている。また、当該チーム内において責任者（Director）等の役職は確認できなかった。
② 職位	職制上の段階は確認できなかった。
③ 任用形態	確認できなかった。
④ 勤務体系	
⑤ 給与体系	確認できなかった。
2- (3) 教員との違い	確認できなかった。
3- (1) 職種の職務内容、職務分担	確認できなかった。
3- (2) SCの家庭内問題への対応の有無	確認できなかった。なお、州や学校区によっては、SCが家庭内の問題に関与する場合もあるが、アメリカにおけるSCの役割は、主に学校内での生徒の学業面や精神面等での向上を図ることに重きを置いているケースが多い。
3- (3)	以下の問題に対して、対応する職種及び連携する職種
① 学校におけるいじめ、不登校等の問題に係る児童生徒への対応	確認できなかった。
② 学校におけるいじめ、不登校等の問題に係る当該児童生徒の保護者への対応	確認できなかった。
③ 家庭における虐待、貧困等の問題に係る児童生徒への対応	ニューヨーク市のChancellor's Regulation A-750の規定により、虐待の可能性がある場合は、全ての学校関係者はState Central Register (SCR)
④ 家庭における虐待、貧困等の問題に係る児童生徒への対応	へ報告することが義務付けられている。また、当該報告後、所定の報告書

係る当該児童生徒の保護者への対応	を自治区の児童サービス局（ACS）に提出する必要がある。
⑤ 保護者が学校にクレームを言いに来た場合の対応	保護者からの学校に関する問い合わせは、ペアレンツコーディネーターが窓口となっている。連携する職種は確認できなかった。
⑥ 自死案件の事後対応	確認できなかった。
3-（4） SC等による相談等対応に係る記録は教員と共有するのか。	確認できなかった。
3-（5） 相談者である児童生徒が転校した場合、相談等対応に係る記録は転校先の学校へ引き継がれるか。引き継がれる場合、本人同意は必要か。	確認できなかった。

(以上)

4 その他

SC配置はスプートニクショックによるエリート発掘がきっかけというのは本当か。

- ・スプートニクショックに関する明確な記述は確認できなかった。
- ・なお、ASCA（米国スクールカウンセラー協会）のホームページには、「スクール・カウンセリングの沿革」として以下のように記載されている。

1900年代初頭：現在のスクールカウンセラー制度が、学校管理者や教師が非組織的に行う「職業指導」として始まる。

1920年代：職業指導に加え、心理的なカウンセリングがされるようになる。

1930年代：カウンセリングを担当する人達に対して、様々なトレーニングが行われるようになる。

1940年～1950年代：1946年の職業教育法や1958年の国防教育法（NDEA）の成立により、スクールカウンセラーの選抜と訓練にも注目が集まり、支援が行われるようになる。

(参考HP)

<https://www.schoolcounselor.org/getmedia/52aabb9f-39ae-4fd0-8387-1d9c10b9ccb8/History-of-School-Counseling.pdf>